

2025 年度 京都文教大学大学院 臨床心理学研究科

－博士前期課程－

春期入学試験問題

心理学

受験番号：

氏名：

実施日 2025 年 2 月 15 日（土）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子 1 冊（問題文 3 ページ）、解答用紙 2 枚です。
3. 全てに受験番号と氏名を記入してください。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答を終えたら、問題冊子、解答用紙の順に机の上に重ね、時間の終了を待ってください。
6. 試験終了後、この問題冊子を回収します。
7. 何か疑問な点があれば静かに挙手をし、監督者の指示に従ってください。
8. 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取り止めさせ退室させます。

第I問

以下の心理学用語（①～⑩）ともっとも関係の深い言葉を、語群の中から1つ記号で選びなさい。ただし、記号は重複させないこと。また、心理学用語（①～⑩）の意味を120文字以内に説明しなさい。

- ① 不安階層表
- ② アンダーマイニング効果
- ③ フェルトセンス
- ④ 二次障害
- ⑤ 影（シャドー）
- ⑥ ゲシュタルト療法
- ⑦ 心理的離乳
- ⑧ 洞察学習
- ⑨ 自律訓練法
- ⑩ ピグマリオン効果

<語群>

- | | | |
|-------------|-------------|----------------------|
| (ア) フォーカシング | (イ) ホリングワース | (ウ) ケーラー(Kohler, W.) |
| (エ) ユング | (オ) 系統的脱感作法 | (カ) 教師期待効果 |
| (キ) 背景公式 | (ク) 今・ここ | (ケ) 内発的動機づけ |
| (コ) 発達障害 | | |

第Ⅱ問 次の文章（1～5）を読んで、以下の問いに答えなさい（問1～問5）

1. 一般的に成人期以降に現れる知的低下や思考障害などの精神機能が低下する認知症の検査には、標準化された検査として がよく用いられ、スクリーニング用としては 、精研式スクリーニングテスト、MMSE などがある。
2. ピアジェ (Piaget, J.) が提唱した認知的発達 の 4 段階は、（誕生～2 才頃）、前操作期（2～7 才頃）、具体的操作期（7～11 才頃）、（11 才頃～）である。
3. パーソナリティをとらえる観点の 1 つである「特性論」に分類される「ビッグ・ファイブ」は、開放性、、外向性、協調性、 の 5 因子モデルである。
4. かつて神経症の 1 つとされていたヒステリーには、意識、記憶、同一性、情動の心理的統合が失われる精神的機能障害である ヒステリーと、知覚と身体運動のコントロールの間の統合が失われる身体的機能障害である ヒステリーがある。
5. 人間性心理学の提唱者の 1 人とされるマズロー (Maslow, A. H.) の欲求階層説によると、人間の欲求には階層があり、生理的欲求、 欲求、所属・愛情欲求、尊重欲求（承認）が満たされると、自己実現へ向かう成長動機が生じるとされる。また、生理的欲求、 欲求、所属・愛情欲求、尊重欲求を 動機とし、自己実現欲求を成長動機とした。

問1 (A) と (B) に入るもっとも適切な言葉を、以下の選択肢からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) WPPSI (イ) K-ABC (ウ) WAIS-IV (エ) DAM (オ) HDS-R

問2 (C) と (D) に入るもっとも適切な言葉を、以下の選択肢からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 乳児期 (イ) 形式的操作期 (ウ) 発達加速期 (エ) 脱中心化期
(オ) 感覚運動期

問3 (E) と (F) に入るもっとも適切な言葉を、以下の選択肢からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 神経症傾向 (イ) 自律性 (ウ) 勤勉性 (エ) 内向性 (オ) 向社会性

問4 (G) と (H) に入るもっとも適切な言葉を、以下の選択肢からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 心気 (イ) 解離 (ウ) 心因 (エ) 転換 (オ) 感覚運動

問5 (I) と (J) に入るもっとも適切な言葉を、以下の選択肢からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 欠乏 (イ) 至高 (ウ) 親密 (エ) 受容 (オ) 安全

第Ⅲ問 性格に関する次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載しておりません。

(森谷寛之著、「臨床心理学—心の理解と援助のために—」、サイエンス社、2005より抜粋、一部字句改変)

問1 「A」～「C」に当てはまるもっとも適切な性格傾向を、次の選択肢からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 社交的、善良、親切、明朗、ユーモアがある、活発、激しやすい、寡黙、陰鬱、気が弱い
- (イ) 非社交的、静か、控え目、まじめ、ユーモアを解さない、変人、敏感、感じやすい
- (ウ) 粘っこく、静かで控えめな面がありながら、一方、爆発的な一面がある

問2 (D)～(G)に当てはまるもっとも適切な性格傾向を、次の選択肢からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 健康で成熟した人格。相手のことをも考えることができ、人を十分に愛する能力を持つ。
- (イ) 自己の力を誇示し続ける性格。傲慢、自己主張的。他人のことを考えることができない。
- (ウ) 依存的、寂しがり、人からいつも愛されることを求める。
- (エ) 几帳面、清潔、倫理的、儉約家、礼儀正しい。